高速鉄道東西線
５０系車両案内表示装置
（第１６編成）

仕様書

令和元年５月

京都市交通局　高速鉄道部

高速車両課

第１章　総　則

（適用）

第１条　本仕様書は，高速鉄道東西線５０系車両（以下｢本車両｣という。）の案内表示装置（以下「本装置」という。）の設計，製作，検査，納入，試験及び機器交換に適用するものである。

（当事者）

第２条　本仕様書において，「甲」とは京都市交通局をいい，「乙」とは請負人をいう。

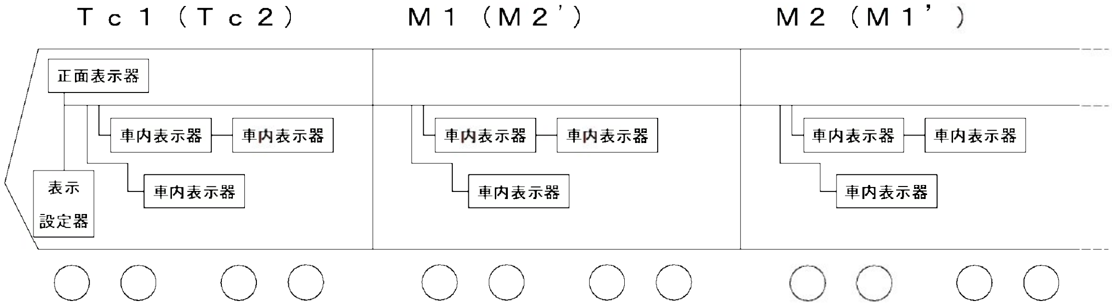
（製作納入範囲）

第３条　本契約に基づく製作納入範囲は，付表１のとおりとする。

（概要）

第４条　本装置は，表示設定器，車内案内表示器（以下「車内表示器」という。），車外行先表示器（正面）（以下「正面表示器」という。）等から構成され，乗客サービス向上として，表示設定器からの指令により正面表示器に種別，行先等を表示し，車内表示器に行先案内，次駅案内，扉開閉表示，乗換案内，停車駅案内，ＰＲ文，緊急案内文等を表示するものである（図１）。

２　乙は，既存の装置を車両から取り外して，新たな装置を同じ場所に取り付けること。



※図は６両編成のうち半数の３両分を示し，構成はＴｃ１，Ｍ１，Ｍ２，Ｍ１’，Ｍ２’，Ｔｃ２とする。

図１．　案内表示装置のシステム

（主要諸元）

第５条　本装置の設計及び製作に必要な主要諸元は，付表２のとおりとする。

（設計及び製作上の注意）

第６条　本装置は，主要諸元等を満足し，列車が円滑かつ安全に走行できるものとする。

２　本装置は，軽量かつ堅ろうなものとし，監督官庁の確認及び許認可を得るのに支障がないものとする。

３　本装置の設計及び製作に際して，他の装置との動作，機能及び特性上の整合性を図り，検査設備にも適合できるものとする。
４　使用する材料は，十分吟味し，設計及び製作は入念かつ丁寧に行い，細部の構造及び機能等は，実用上最も優れたものとする。
５　地下及び地上で使用するため，高温多湿な環境，風雨雪の害，騒音，振動及び塵埃等予想されるすべての条件に対して十分な配慮を行い，長期にわたって安全確実で円滑な機能が維持できるとともに保守の容易なものとする。
６　本装置は，小型軽量化及び省エネルギー化を図るものとする。
７　本装置で必要となる交換部品，保守部品等は，調達が容易であること。
８　本装置は，既存配線（電源線，伝送線，接地線等）を流用するものとする。また，他の既存機器とのインターフェースについても原則変更しないものとする。

（関係法規の適用）
第７条　本装置は，京都市交通局契約規程，鉄道事業法等関係法規，京都市高速鉄道車両実施基準及びＪＩＳ等関係規格を遵守したうえで，設計，製作及び検査を行うこと。

（仕様書の解釈）
第８条　本仕様書に明記されていない事項及び不明な事項については，契約前に甲に照会し，契約後は，甲の解釈及び指示に従うこと。

（変更）
第９条　契約後においても，甲が必要と認めたときは，軽微な変更を行うことができる。その場合，乙は契約金額内で応じること。

（互換性）
第 10 条　本装置は，既存装置との電気的互換性及び取付けの互換性を有し，周辺の機器に支障することなく車両に設置することができるものとする。

（特許及び実用新案）
第 11 条　乙は，本装置について，国内及び国外の特許，実用新案及び意匠並びにその他権利上の問題が生じたときには，これの解決に当たるとともに，これらに関するすべての費用及び損害を負担し，甲にいかなる支障も及ぼしてはならない。

（工程表）
第 12 条　乙は，契約後，遅滞なく工程表を提出し，甲の了解を得ること。また，工程表に変更が生じたときも，直ちに変更届を提出し，了解を得ること。

（打合せ）

第13条　乙は，本装置の設計，製作，検査，納入，試験及び機器交換に当たり，甲と十分な打合せを行い，打合せ事項についてその都度，別途指示する書式の議事録を提出し，甲の承諾を得ること。

（図書の提出）

第14条　乙は，甲の指示する様式により指定期日内に次の図書を提出すること。

（１）承認図（外形図，部品図，配線図，使用材料等）・・・・・・・・３部
（２）物件供給検査申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２部
（３）再委託承諾申請書（必要に応じて）・・・・・・・・・・・・・・１部
（４）完成図書（各種図面，部品図，検査要領書，取扱説明書等）・・５部
（５）製作写真及び完成写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５部
（６）研修用教本及び研修用資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・１式
（７）製造番号及び機器整理番号簿・・・・・・・・・・・・・・・・・５部
（８）初通電要領書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５部
（９）その他甲の指示する図書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１式
（10）前各号のうち，甲の指示する図書のデジタルデータ・・・・・・１式

２　乙は，必要に応じて車両確認申請に必要な書類を提出すること。

３　第１項及び第２項の提出書類について，同型式の既納品があり，内容に変更がない場合は，甲の指示で省略できる。

（支給品の管理）

第15条　乙は，甲から機器等の支給を受けたときは，別途指示する書式の預り証を提出しなければならない。また，支給品について，損傷，変質，機能の低下及び紛失等を生じないように十分な管理を行い，支障が生じたときの補償は，すべて乙が負担すること。

（技術指導）

第16条　甲は，必要が生じたとき，乙の工場に出入りし，技術指導ができるものとする。

（完了検査）

第17条　本装置は，甲が指定する場所において，甲の立会いの下に別に指示する試験及び検査を行い，これに合格しなければならない。ただし，甲が認めたものに限り，乙の試験成績書又は検査成績書により，合格を与えることがある。

なお，試験及び検査に必要な資材及び設備等の提供並びにこれらに要する費用は，すべて乙の負担とする。

（保証期間）
第 18 条　本装置の保証期間は，甲の検査合格後から初回の全般検査又は重要部検査（４年周期）までとする。また，この期間に生じた設計，工作及び材料の不良等による不具合については，乙の責任において，甲の指定期日内に無償で修理，改造又は新品との取替えを行うこと。ただし，甲に責あるときは，その限りでない。

（協調不備に伴う保証）
第 19 条　本装置が他の関係機器との協調不備により，運転条件その他を十分満足できない場合，乙は，甲及び他の関係機器メーカーと協議のうえ，甲の指示に従い速やかに処置しなければならない。

（搬入）
第 20 条　本装置は，甲が指示する内容の試験及び検査に合格した後，甲の指示する時期に醍醐車庫に搬入すること。
　なお，搬入に必要な資材，設備，費用及び本装置搬入完了までの紛失及び損傷等のすべての責任は，乙が負担すること。
２　本装置の搬入場所は次のとおりとする。
　京都市交通局醍醐車庫　車両工場醍醐検車区
　（所在地　〒６０１－１３７５　京都市伏見区醍醐高畑町３０－１）

（履行期限）
第 21 条　履行期限は，付表１の通りとし，履行期限までに甲の完了検査に合格すること。

（特記）
第 22 条　作業に必要な資材，設備，費用等は乙が負担すること。また，交換作業に伴う既存設備の破損，損傷等のすべての責任は，乙が負担すること。
２　甲の要請により，本装置の交換作業後，乙は，構内及び本線試運転にて本装置の機能検査を行うこと。
３　乙は，本装置の性能及び機能等について，本装置の搭載車両の運用開始後，整備その他に十分協力し，責任を負うこと。
４　甲が検査又は修理を要請したとき，乙は，誠意をもってこれに応じること。
５　甲が要請した場合は，甲が指定する場所，日時において，本装置の取扱い及び保守要領等，必要な知識の習得について研修を４日間程度行うこと。これらに必要なすべての費用は，乙が負担すること。
６　発生する廃棄物については，乙の責任において処分すること。また，廃棄に伴う費用は，乙が負担するものとし，処分後に甲にマニフェスト等の写しを提出すること。
７　支払方法は，甲の完了検査合格後の一括支払いとする。

8　本装置は，将来の組成・装置構成・運行形態等の変更に対しても軽微な変更により対応できるものとする。
9　本装置は納入後，検査に先立ち部分使用できるものとする。

第２章　一　　般

（設計及び製作の指針）

第 23 条　本装置は，表示設定器，車内表示器及び正面表示器等から構成される（付図１）。

表示設定器は，種別，行先設定により各表示器の制御を行う。また，始発，種別，行先データから列車の走行パターンを自動認識し，所定の走行位置で各表示器へ自動的に表示データを送出して表示させること。

車内表示器は，行先案内，次駅案内，扉開閉表示，乗換案内，停車駅案内，ＰＲ文，緊急案内文等を表示し，正面表示器は種別，行先等を表示すること。

２　更新前の案内表示装置の仕様は，次のとおりとする。機器間ツナギ図（現状）を付図２，表示設定器取付図（現状）を付図６，車内表示器取付図（現状）を付図７及び８，正面表示器配置図（現状）を付図９に示す。また，参考として更新前の基本表示文を付表５に示す。

３　表示文字，表示色の詳細については，甲が指示する。

４　走行区間は，市営地下鉄東西線（以下，「市交線」という。）（太秦天神川駅～六地蔵駅）とする（付表３）。

５　表示言語は，日本語，英語，中国語（簡体字）及び韓国語の４箇国語とし，表示文章は原則として甲が用意したものを使用すること。ただし，甲が指示した場合は，甲が示す日本語の文例を元に，各言語に翻訳したものを乙が用意すること。

６　表示設定器は，タッチパネル式とする。

７　車内表示器は，フルカラー液晶表示器とする。

８　正面表示器は，高輝度ＬＥＤ表示器とする。

９　モニタ装置とのインターフェースとして２０ｍＡカレントループ及びＤＣ１００Ｖデジタル出力を有すること。また，車内表示器にも将来的に扉開閉予告灯及び扉開閉ブザー兼誘導鈴を動作させるための準備を施すこと。

10　入力電圧は次のとおりとする。

（１）制御電源

直流１００Ｖ

（２）車内表示器及び正面表示器用電源

単相交流２００Ｖ（周波数６０Ｈｚ）

ただし，制御電源は，低圧電源装置と蓄電池から供給される直流１００Ｖを標準とするが，７０Ｖ～１１０Ｖの変動範囲においても，異常なく動作すること。

11　使用温度範囲は，－１０℃～＋５０℃，相対湿度は，３０％～９０％（結露なし）とする。

12　本装置は，保守が容易な構造とし，誘導障害対策を細部にわたり施すこと。

なお，当該装置による誘導障害の影響が確認された場合，乙は必要な対策を講じること。また，これらに要する費用は，すべて乙の負担とする。

13　甲と協議のうえ，低損失，省エネルギーに寄与する技術は積極的に採用すること。

第３章　　細　部　仕　様

第１節　材料及び工作

（材料一般）

第 24 条　材料は，すべて精選された優良なものを用い，十分な絶縁耐力を有するものとする。規格は，原則としてＪＩＳによること。ただし，ＪＩＳによりがたいものについては，あらかじめ甲の承諾を得ること。

２　使用する電線は，原則として，難燃性ハロゲンフリー電線とする。また，可能な限り無リン電線とする。

３　甲が指示する部品の材料については，鉄道車両用材料燃焼試験において不燃性以上の性能を持つこと。

（工作一般）

第 25 条　工作は，細部に至るまで入念かつ丁寧に行うこと。

２　組立に際して不具合が生じたときは，甲の了承を得ず部品を加工してはならない。

３　外部との電線の接続は，原則として多芯コネクタによるものとし，誤挿入防止を図るとともに，構造及び取付方法等は，操作し易いものとする。

４　製作等にあたり箱の軽量化及び内部装置の保守の容易化を十分に考慮すること。

第２節　製作仕様

（方式及び定格）

第 26 条　本装置の製作仕様は次のとおりとする。

（１）表示設定器

ア　方式及び定格は次のとおりとする。

項　　　　目	方　式　／　定　格
入　力　電　源	直流１００Ｖ
メ　モ　リ　カ　ー　ド	ＣＦ（コンパクトフラッシュ）ＴＹＰＥ１ ２スロット　１ＧＢ
デ　ィ　ス　プ　レ　イ	表示素子　ＴＦＴカラーＬＣＤ 表示面寸法　　１１５．２（W）×８６．４（H）〔mm〕程度 解像度　　３２０×２４０（ＱＶＧＡ）以上 バックライト　白色ＬＥＤ （平均寿命：連続点灯　５０，０００時間以上） 表示色　１６，３８４色以上

イ　外形寸法は付図３のとおりとする。

ウ　表示言語は，日本語（漢字，ひらがな），英語，中国語（簡体字），韓国語の４箇国語とする。

エ　駅名及び駅間距離は付表３のとおりとする。

オ　車内の表示内容の割当ては甲が指示する。また，割込文も表示できるものとする。

カ　後方防護を入力することにより，両先頭車の前灯制御をする信号を出力すること。

キ　正面表示器に表示する種別及び行先を選択できる機能を設けること。

ク　詳細は甲の指示による。

（２）車内表示器

ア　方式及び定格は次のとおりとする。

項　　　　目	方　式　／　定　格
入　力　電　源	単相交流２００Ｖ　６０Ｈｚ
液　晶　ユ　ニ　ッ　ト	フルカラーＬＣＤ ＬＣＤ表示範囲　９０mm（H）×４８０mm（W）程度，輝度　５００（ｃｄ／ｍ^{2}）標準値
表　　示　　色	１画面最大１６７０万色以上 （１画面部品あたり２５６色程度とする。）

イ　外形寸法は付図４のとおりとする。

ウ　扉開閉に応じて１台の表示器で３台までの扉開閉予告灯を動作させるための準備をすること。

エ　扉開閉に応じて１台の表示器で２台までの扉開閉予告ブザー兼誘導鈴（２音声）を動作させるための準備をすること。

オ　詳細は甲の指示による。

（３）正面表示器

ア　方式及び定格は次のとおりとする。

項　　　　目	方　式　／　定　格
入　力　電　源	単相交流２００Ｖ　６０Ｈｚ
表　　示　　数	２０以上（切替表示）
Ｌ　Ｅ　Ｄ　ユ　ニ　ッ　ト	ＬＥＤ表示有効範囲：５７６（W）×１９２（H）㎜ 有効ＬＥＤドット数：　９６（W）×３２（H）ドット ＬＥＤドットピッチ：６㎜
表　　示　　色	８色（５１２色（ＲＧＢ各８階調）の内から任意の８色を選択）

イ　外形寸法は付図５のとおりとする。

ウ　詳細は甲の指示による。

（画面仕様）

第 27 条　車内表示器及び正面表示器の表示パターン及び内容は，付図１０及び以下に示すほか，甲の指示によること。付図１１－１に京都市役所前駅から烏丸御池駅を走行する際の表示パターン及び内容を示し（通過駅の場合），付図１１－２に西大路御池駅から太秦天神川駅を走行する際の表示パターン及び内容を示す（終端駅の場合）。これ以外の駅間についても同様とし，詳細は甲の指示による。

（１）車内表示器

ア　共通

基本４秒を最小単位として，自動で表示切替を行えること。

イ　画面の左半分

（ア）路線名，行先，駅名及び駅ナンバリングを表示すること。

（イ）路線名，行先及び駅名は，４箇国語を循環して表示すること。

なお，日本語表記の駅名と駅ナンバリングは，常時表示すること。

ウ　画面の右半分

（ア）路線案内，乗換案内，戸開方向案内及び緊急案内を表示すること。

（イ）路線案内は，マップ表示のうえ，駅名を日本語及び英語で循環表示すること。走行中には次の駅以降の５駅，停車中には当駅から５駅の路線情報を表示すること。

（ウ）乗換案内，戸開方向案内及び緊急案内は，４箇国語で表示すること。

（２）正面表示器

ア　種別及び行先を表示する。

イ　種別及び行先は，日本語及び英語で表示すること。

２　種別及び行先は，次の１０種類を基本パターンとする（付表４）。ほかのパターンについては甲の指示による。

ア　六地蔵　⇔　二条

イ　六地蔵　⇔　醍醐

ウ　醍醐　⇔　二条

エ　小野　⇔　二条

オ　六地蔵　⇔　太秦天神川

カ　醍醐　⇔　太秦天神川

キ　小野　⇔　太秦天神川

ク　六地蔵　⇔　小野（車庫行）

ケ　試運転（種別）

コ　回送（種別）

（車両への設置）

第 28 条　既存装置を本装置に交換すること。

なお，本装置を正常に動作させるため，必要に応じてぎ装配線を追加及び変更すること。ただし，将来対応機器準備用のぎ装配線は不要とする。

２　設置にあたっては，第７条の関係法規の適用を遵守すること。

３　作業場所は，醍醐車庫とする。

４　本装置の取付を契約後速やかに計画するものとするが，詳細な作業時期は，甲の指示に従うこと。ただし，緊急事態が発生した場合，急遽，日程を変更することがある。

なお，詳細については別途協議するものとする。

第４章　試　験　及　び　検　査

（試験及び検査の内容）

第 29 条　本装置の納入に先立ち，ＪＩＳ Ｅ５００６（「鉄道車両－電子機器」等に関係する標準規格）に基づき，次の各号に定める試験及び検査を行うこと。

検　査　項　目	型式検査	受渡検査	適用試験項目
（１）外観・構造検査	○	○	(1) 項
（２）性能試験	○	○	(2) 項
（３）低温（耐寒性）試験	○	－	(3) 項
（４）高温（耐熱性）試験	○	－	(4) 項
（５）電源過電圧，サージ及び 静電放電試験	○	－	(5) 項
（６）過渡バースト感受性試験	○	－	(6) 項
（７）絶縁試験（絶縁測定試験，耐電圧試験）	○	○	(7) 項
（８）振動及び衝撃試験	○	－	(8) 項
（９）組合せ動作試験	○	○	(9) 項
(10) 各部特性試験	○	○	(10) 項

※型式検査は同型式の納入実績がある場合は，省略することができる。

（１）外観・構造検査

各機器の構造，寸法，材料及び仕上げ等が，本仕様書及び承認図に適合していることを目視検査すること。重量測定は型式検査のみ実施すること。

（２）性能試験

ア　電源変動試験

次の条件で正常に機能していることを確認する。ただし，周波数に関しては交流を電源とする機器のみとする。

（ア）公称電圧及び周波数

（イ）電圧及び周波数の上限値と下限値のすべての組合せ

イ　電源瞬断試験

電源電圧を瞬断させて正常に機能していることを確認する。

（３）低温（耐寒性）試験

低温状態においても，正常に機能することを確認する。

（４）高温（耐熱性）試験

高温状態においても，正常に機能することを確認する。

（５）電源過電圧，サージ及び静電放電試験

各試験波形を印加し，正常に機能することを確認する。

（６）過渡バースト感受性試験

試験波形を印加し，正常に機能することを確認する。

（７）絶縁試験

ア　絶縁抵抗測定

５００Ｖ絶縁抵抗計で２０ＭΩ以上であること。

イ　絶縁耐力試験

次の商用周波数電圧を１分間加圧し，異常があってはならない。

交流２００Ｖ回路　　交流１５００Ｖ

直流１００Ｖ回路　　交流１０００Ｖ

（８）振動及び衝撃試験

振動，衝撃試験実施後，外観，動作に異常がないこと。

（９）組合せ動作試験

表示設定器，車内表示器，正面表示器などを組み合わせた状態での動作試験を行うこと。

（10）各部特性試験

各部の特性について，試験を行うものとする。ただし，内容等については別途指示する。

２　試験及び検査の詳細は，別途打合せのうえ，定めるものとする。

（現車試験）

第 30 条　本装置を車両に設置後，次の試験及び検査を行うこと。詳細は別途甲の指示による（２日程度／編成）。ただし，型式に変更がない場合は，甲の指示により省略することができる。また，甲が要請した場合，乙は，本装置設置後初回の全般・重要部検査の当該装置に関する検査に立ち会うこと。

（１）表示確認

（２）速度入力，キロ程補正確認

（３）甲の指示する検査

（試運転）

第 31 条　現車試験後，構内及び市交線の甲の指示する試験区間において，試運転を実施する。乙は実際の走行において本装置の機能を確認し，必要に応じて本装置の調整を実施するものとする（２日間程度／編成）。ただし，型式に変更がない場合は，甲の指示により省略することができる。

（成績書）

第 32 条　第 29～31 条に規定する試験及び検査の終了後，編成ごとに成績書を３部提出すること。

第５章　付　　則

（測定端子等の設置）

第 33 条　本装置は，保守及び動作試験に必要な測定端子等を有すること。

（塗装）

第 34 条　塗装の色及び方法等については，甲の指示による。

（銘板，刻印及び機器整理番号板）

第 35 条　本装置の機器又は機器箱のうち，甲の指示するものには，所定の位置に次の項目を印した銘板又は刻印を付すること。

（１）　形式及び名称

（２）　製造番号

（３）　製造年月

（４）　製造社名

２　本装置の機器又は各部品のうち，甲の指示するものには，別途指示する機器整理番号板又は刻印を付すること。

（表示灯類）

第 36 条　表示灯類は原則としてＬＥＤとする。

【付図・付表】

No.	名　　　　　称
付表１	製作納入範囲
付表２	主要諸元等
付表３	駅名及び駅間距離
付表４	運行パターン及びドア開方向
付表５	更新前の基本表示文（参考）
付図１	案内表示装置システムブロック図
付図２	機器間ツナギ図（現状）
付図３	表示設定器外形図（参考図）
付図４	車内表示器外形図（参考図）
付図５	正面表示器外形図（参考図）
付図６	表示設定器取付図（現状）
付図７	車内表示器取付図（現状）　その１
付図８	車内表示器取付図（現状）　その２
付図９	正面表示器配置図（現状）
付図１０	東西線５０系車両各表示器画面案
付図１１	案内表示画面の表示例

付表１

製　作　納　入　範　囲

1　製作数量

高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置（第１６編成）	１編成

本体金額（円）	
消費税及び地方消費税等相当額（円）	
合計金額（円）	

2　本装置の１編成あたりの製作内訳数量は，次のとおりとする。

番号	品　　名	5100	5200	5300	5400	5500	5600	計	備　考
1	表示設定器	1					1	2	
2	車内表示器	3	3	3	3	3	3	１８	LCD
3	正面表示器	1					1	2	LED

3　付帯作業

番号	作　　業	仕　　様	数　量	備考
1	交　換　作　業	既存装置との置換え。必要に応じて車体ぎ装関係の改修を実施する	１編成	
2	機能検査・動作確認	交換作業後に現車で実施する。	１編成	
3	試　運　転	構内及び本線の走行試験	１編成	必要により
4	撤去品の処分	必要に応じてマニフェスト発行	１編成	

4　納入及び施工時期

納入　令和元年１２月中旬ごろ

施工　令和元年１２月中旬～令和２年１月ごろ

※搬入及び施工時期は，甲の都合により変更することがある。

5　履行期限

令和２年３月３１日

６　その他

上記のほか，本装置の構成上，甲が必要と判断し，指示するものについては，漏れなく具備すること。

主　要　諸　元　等

１　路線条件

項目／線区名		東　西　線
軌　　間		１，４３５㎜
最急勾配	本　線	３５‰
	側　線	４５‰
分　岐　器	本　線	８番以上
	側　線	６番以上
最小曲線半径	本　線	１６０ｍ
	側　線	８０ｍ

２　運転条件

項目／線区名		東　西　線
区　　間		六地蔵 ～ 太秦天神川
駅平均距離		約１．１ｋｍ
最高運転速度		７５ｋｍ/ｈ（将来９０km/h）
表定速度		約３１ｋｍ/ｈ
加速度		３．３ｋｍ/ｈ/ｓ以上（乗車率は，別途指示）
減　速　度	常用最大	３．５ｋｍ/ｈ/ｓ（乗車率は，別途指示）
	非　常	４．０ｋｍ/ｈ/ｓ（乗車率は，別途指示）
平均駅停車時分		約２０秒
運転方法	本　線	ＡＴＯ自動運転
	側　線	手　動　運　転

３　編　　成

６　　両	$T_{C1}-M_1-M_2-M_1'-M_2'-T_{C2}$

4　車種と主要取付機器

機器名	車種	T_{C1}	M_1	M_2	M_1'	M_2'	T_{C2}
	形式	5100	5200	5300	5400	5500	5600
乗務員室		1					1
制御装置			1		1		
主電動機			4	4	4	4	
低圧電源装置				1		1	
空気圧縮機		1					1
ブレーキ装置		1	1	1	1	1	1
集電装置			2		2		
蓄電池				1		1	
ATC装置		1					1
ATO装置		1					1
誘導無線装置		1					1
自動密着連結器		1					1
半永久連結器		1	2	2	2	2	1
台車		2	2	2	2	2	2
冷房装置		2	2	2	2	2	2
モニタ装置		1	1	1	1	1	1
画像伝送装置（更新）		1					1

5　車両に関する主要諸元

車体寸法	車体長さ		１６，０００mm
	連結面長さ		１６，５００mm
	車体幅		約２，４２０mm
	車体高さ（クーラーキセ上面）		約３，４７６mm以下（空車時，軌条面上）
	床面高さ		９００mm　（空車時，軌条面上）
	ボギー中心間距離		１１，０００mm
	連結器中心高さ		先頭車６８０mm，　中間車６００mm （空車時，軌条面上）
自重 ※更新前の自重		T_{C1}，T_{C2}	約２１．６トン
		M_1，M_1’	約２５．２トン
		M_2，M_2’	約２３．６トン
定員		T_{C1}，T_{C2}	９２名
		M_1，M_1’	１０４名
		M_2，M_2’	１０４名
最大乗車率			約３００％
電気方式			ＤＣ１５００Ｖ，架空線方式
制御	方式		ＶＶＶＦインバータ方式 （回生ブレーキ，応荷重装置付）
	主電動機		８５kW×８Ｐ（永久接続）
ブレーキ	方式		全電気指令式（遅れ込め方式）
	常用ブレーキ		空気ブレーキ及び回生ブレーキ
	非常ブレーキ		空気ブレーキ
	予備ブレーキ		空気ブレーキ
低圧電源装置	ＤＣ１００Ｖ　＋１０－３０％		静止インバータにより蓄電池を浮動充電
	ＡＣ２００Ｖ　３φ６０Ｈｚ		静止インバータ出力
	ＡＣ１００Ｖ　１φ６０Ｈｚ		静止インバータ出力を変圧

台車	型　　　　　　　　　　　　式	平行カルダン空気ばね台車
	車　　　輪　　　直　　　径	６６０㎜（新製時）
	固　　定　　軸　　距　　離	１，９００㎜
	歯　　　　　車　　　　　比	７４：１４
運　　転　　保　　安　　装　　置		車内信号機付ＡＴＣ装置及びＡＴＯ装置
		誘導無線装置

付表３

駅名及び駅間距離

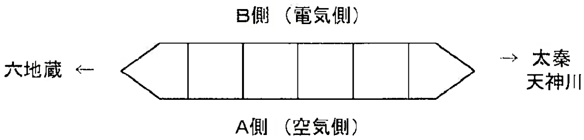
No.	始発 行先駅	駅　名	英　　　字	駅番号 F	駅間 距離 (m)	運転時分 下り↓	 上り↑
1	⊖	六地蔵	ROKUJIZO	(T01)			
					1050	2'15	1'40
2		石田	ISHIDA	(T02)			
					1300	1'45	1'50
3	⊖	醍醐	DAIGO	(T03)			
					1180	1'31	1'51
4	⊖	小野	ONO	(T04)			
					1314	1'42	1'39
5		椥辻	NAGITSUJI	(T05)			
					1053	1'27	1'26
6		東野	HIGASHINO	(T06)			
					1023	1'25	1'23
7		山科	YAMASHINA	(T07)			
					1772	2'13	2'13
8	⊖	御陵	MISASAGI	(T08)			
					1723	1'58	2'00
9	⊖	蹴上	KEAGE	(T09)			
					1084	1'26	1'30
１０		東山	HIGASHIYAMA	(T10)			
					536	0'58	0'58
１１		三条京阪	SANJO-KEIHAN	(T11)			
					532	1'04	1'02
１２	⊖	京都市役所前	KYOTO SHIYAKUSHO-MAE	(T12)			
					844	1'13	1'13
１３	⊖	烏丸御池	KARASUMA-OIKE	(T13)			
					876	1'18	1'17
１４		二条城前	NIJOJO-MAE	(T14)			
					806	1'34	1'18
１５	⊖	二条	NIJO	(T15)			
					1025	1'35	1'35
１６		西大路御池	NISHIOJI-OIKE	(T16)			
					1370	2'25	1'55
１７	⊖	太秦天神川	UZUMASA-TENJINGAWA	(T17)			

運行パターン及びドア開方向

運行パターン一覧

1	六地蔵　⇔　二条
2	六地蔵　⇔　醍醐
3	醍醐　⇔　二条
4	小野　⇔　二条
5	六地蔵　⇔　太秦天神川
6	醍醐　⇔　太秦天神川
7	小野　⇔　太秦天神川
8	六地蔵　⇔　小野（車庫行）

ドア開方向一覧



No.	駅　　名	上り↑	下り↓
1	六 地 蔵	B	−
2	石　　田	B	A
3	醍　　醐	B	A
4	小　　野	B	A
5	椥　　辻	B	A
6	東　　野	B	A
7	山　　科	B	A
8	御　　陵	A	A
9	蹴　　上	B	A
１０	東　　山	B	A
１１	三条京阪	B	A
１２	京都市役所前	B	A
１３	烏丸御池	B	A
１４	二条城前	B	A
１５	二　　条	B	A
１６	西大路御池	B	A
１７	太秦天神川	−	A

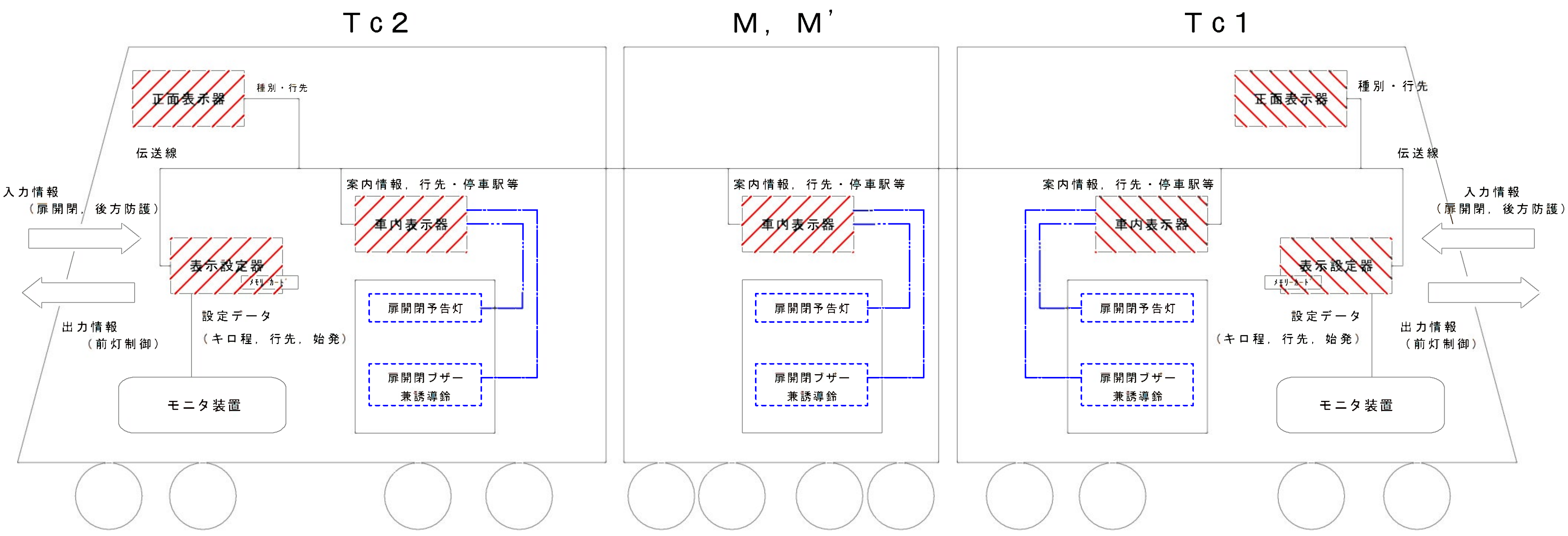
更新前の基本表示文（参考）

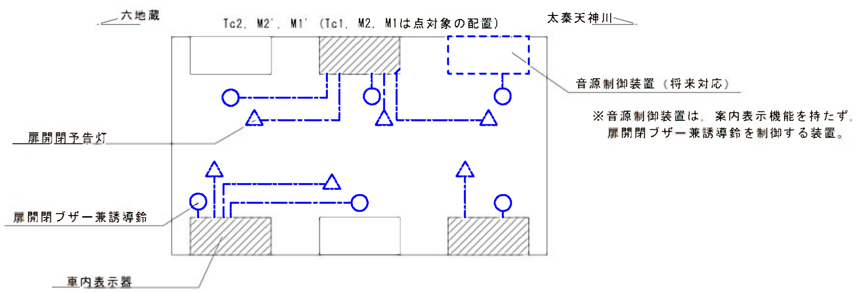
文章名	表　　示　　文	表示方法
ＩＭ―０１	毎度ご乗車ありがとうございます。	１６ドットスクロール 繰り返し
ＩＭ―０２ D	この電車は，　行先駅　行です。＃＃＃ This is bound for A行先駅.	１６ドットスクロール 繰り返し
ＩＭ―０３ ＩＭ―０４ ＩＭ―０５ F	次は 次駅　駅番号 NEXT　英文	１６ドット（上段） ２４ドット（上段） ８ドット（下段） （永久固定　MIN5SEC）
ＩＭ―０６ A F	まもなく　次駅　駅番号	１６ドット（上段）
ＩＭ―０７	A　削除	
ＩＭ－０８	A　削除	
ＩＭ―０９ ＩＭ―１０	次は 次駅	１６ドット ２４ドット （固定　5SEC）
ＩＭ―１１ F	現在駅　駅番号　**（車内表示器へ登録）** 英文	２４ドット（上段） ８ドット（下段） （永久固定　MIN5SEC）
ＩＭ―１２ ＩＭ―１３ ＩＭ－１４ F	次は　終点 次駅　駅番号 NEXT　英文	１６ドット（上段） ２４ドット（上段） ８ドット（下段） （永久固定　MIN5SEC）
ＩＭ―１５ A F	まもなく　次　駅　駅番号　終点	１６ドット（上段）
ＩＭ－１６	A　削除	
ＩＭ－１７	A　削除	
ＩＭ―１８ F	現在駅　駅番号　終点　**（車内表示器へ登録）** 英文	２４ドット（上段） ８ドット（下段） （永久固定　MIN5SEC）

文章名	表　示　文	表示方法
ＩＭ－１９ ＩＭ－２０	現在駅 英文	２４ドット（上段） ８ドット（下段） （固定　5SEC）
ＩＭ－２１	この電車は，　行先駅　行です。	１６ドットスクロール
ＩＭ－２２ D	The next stop is A次駅 .	１６ドットスクロール １回
ＩＭ－２３ D	This is bound for A行先駅 .	１６ドットスクロール
ＩＭ－２４	ご乗車ありがとうございました。	１６ドットスクロール 繰り返し
ＩＭ－２５ ＩＭ－２６	次は　終点 次駅	１６ドット ２４ドット （固定　5SEC）
ＩＭ－２７	A　削除	
ＩＭ－２８	こちら側の扉が開きます	１６ドット（下段） （永久固定 MIN5SEC）
ＩＭ－２９	反対側の扉が開きます	１６ドット（下段） （永久固定 MIN5SEC）
ＩＭ－３０ A D F	車内にお忘れ物のないようご注意ねがいます。＃＃＃The next stop is A次駅 . 駅番号 This is the final station. # Thank you.	１６ドットスクロール 繰り返し
ＩＭ－３１	まもなく　**（車内表示器へ登録）** 京都市役所前 NEXT　KYOTO SHIYAKUSHO-MAE	１６ドット（上段） ２４ドット（上段） ８ドット（下段） （永久固定　MIN5SEC）
ＩＭ－３２	まもなく　終点　**（車内表示器へ登録）** 京都市役所前 NEXT　KYOTO SHIYAKUSHO-MAE	１６ドット（上段） ２４ドット（上段） ８ドット（下段） （永久固定　MIN5SEC）
ＩＭ－３３ D	毎度ご乗車ありがとうございます。＃ この電車は，　行先駅　行です。＃＃＃ This is bound for A行先駅 .	１６ドットスクロール 繰り返し
ＩＭ－３４ D F	この電車は，　行先駅　行です。＃＃＃ The next stop is A次駅 . 駅番号 # This is bound for A行先駅 .	１６ドットスクロール １回

文章名	表　　示　　文	表示方法
ＩＭ－３５	まもなく 次駅	１６ドット（上段）
ＩＭ－３６	この電車は， 行先 行です。＃ The next stop is A次駅.＃ This is bound for A行先.	１６ドットスクロール １回
ＩＭ－３７ F	次駅 駅番号	１６ドット（上段）
ＩＭ－３８ 終点表示用 F	次駅 駅番号	１６ドット（上段）
ＩＭ－３９ F	まもなく 京都市役所前(T12) 終点　　**（車内表示器へ登録）**	１６ドット（上段）

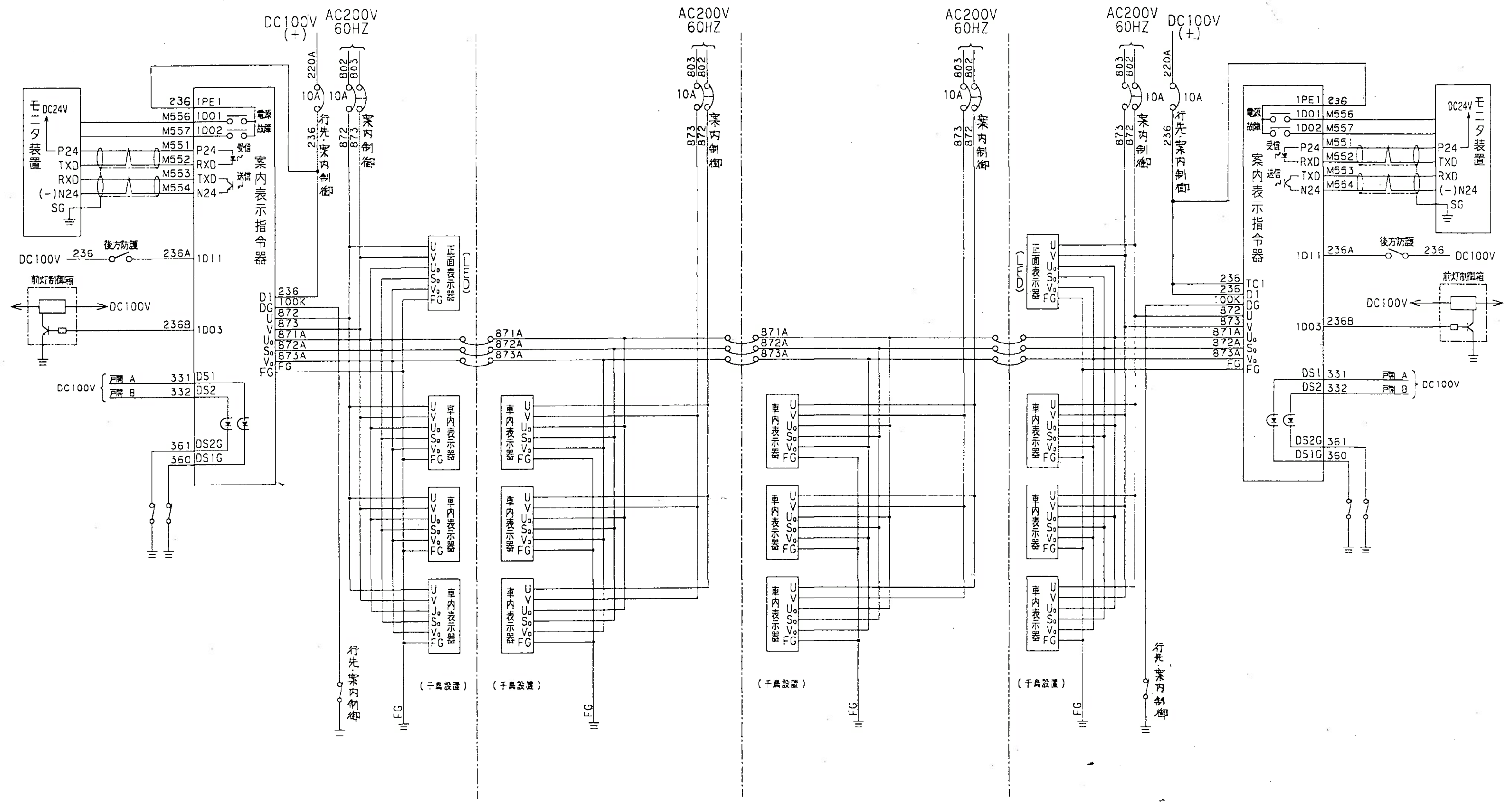
付図１



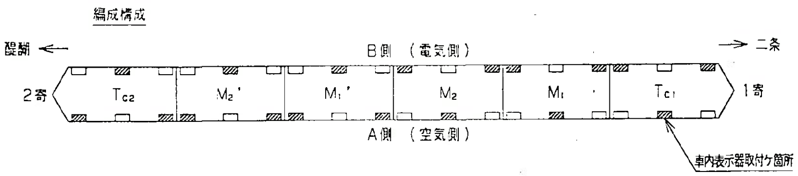


件　名	高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置
名　称	案内表示装置システムブロック図
京都市交通局　高速鉄道部　高速車両課	

付図 2

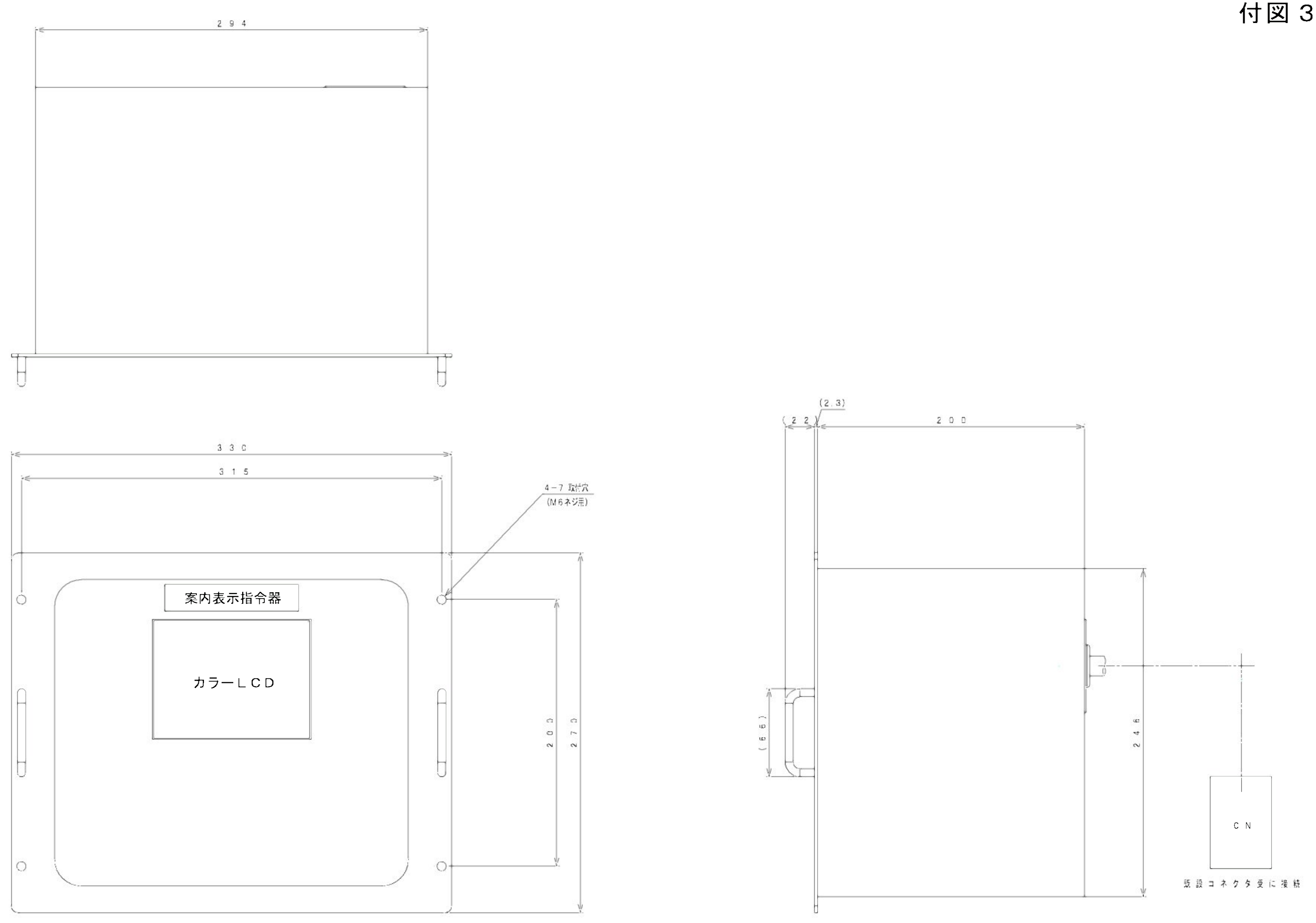


注記
1．前灯制御ノ出力ハ、ON（0.5sec）~OFF（0.5sec）



件 名	高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置
名 称	機器間ツナギ図（現状）
	京都市交通局　高速鉄道部　高速車両課

付図３



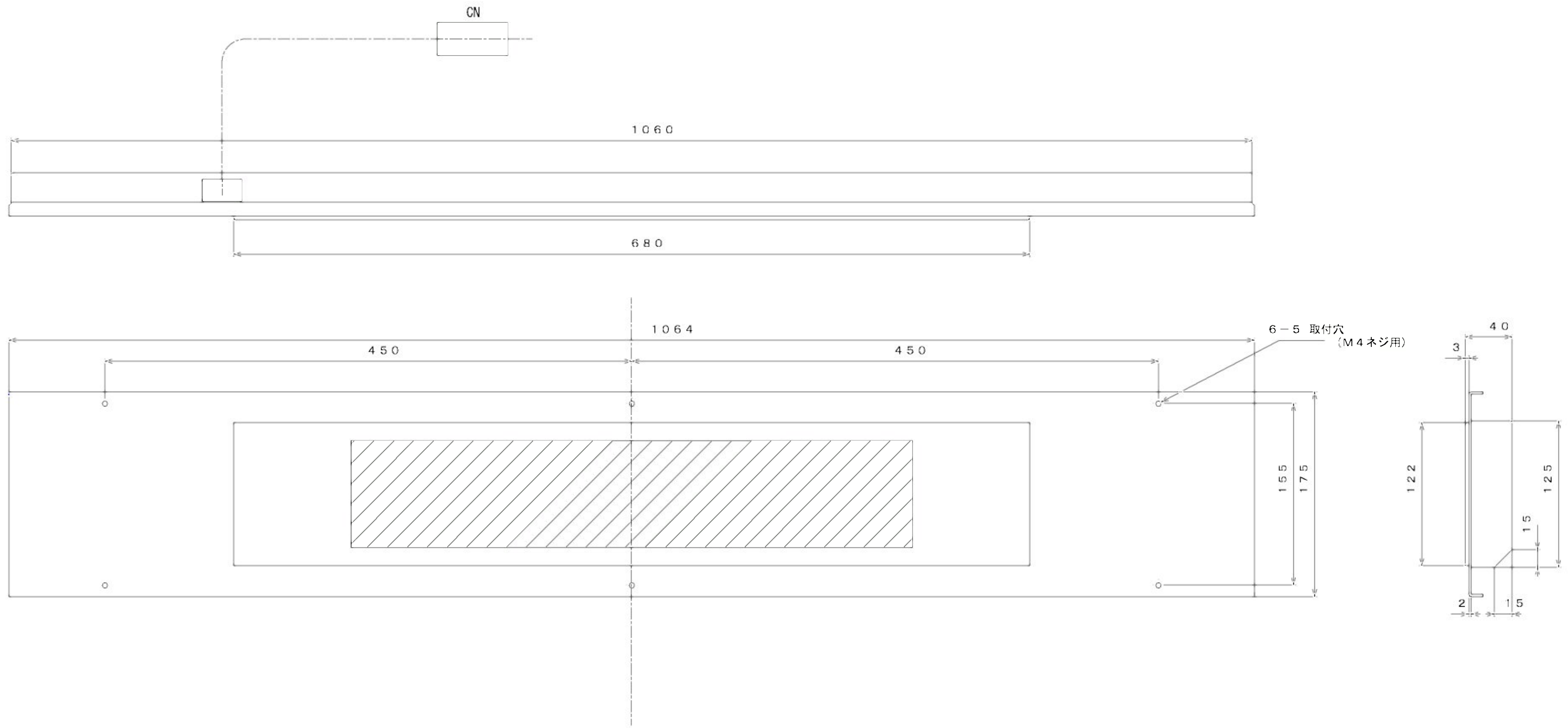
※外形寸法及び取付寸法以外は参考とする。

※ケーブル長は既設コネクタに接続できる長さとする。

件　名	高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置
名　称	表示設定器外形図（参考図）

京都市交通局　高速鉄道部　高速車両課

付図 4



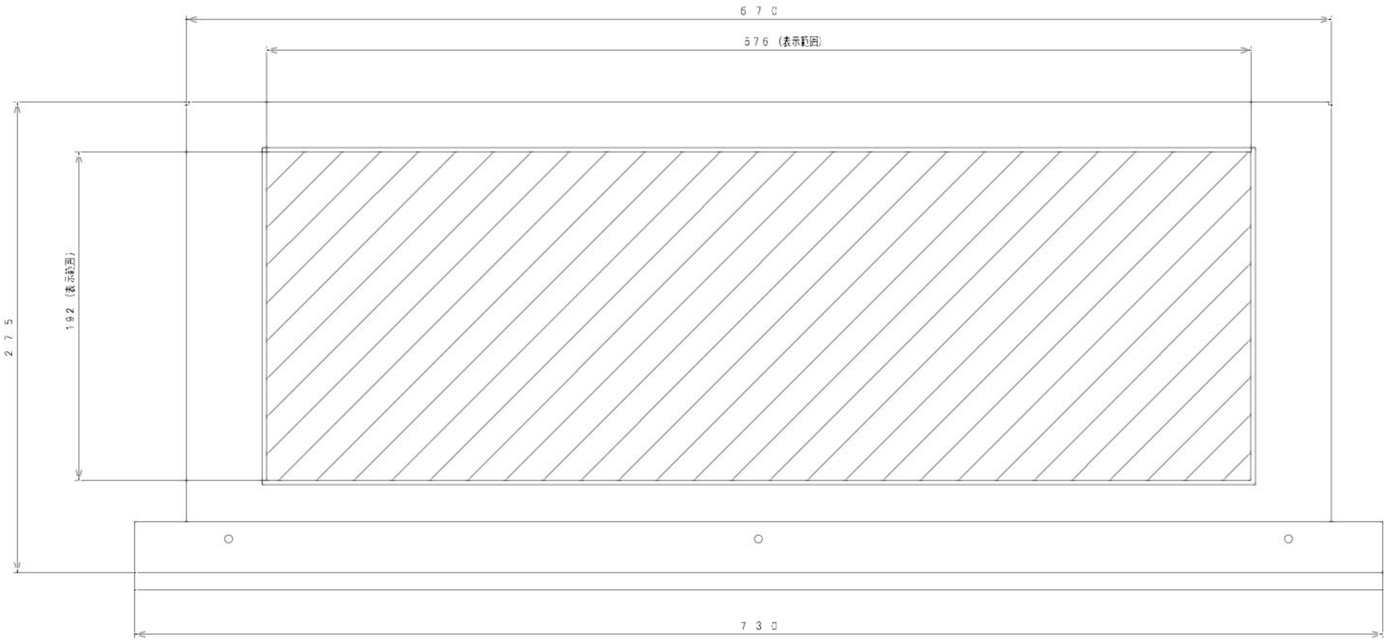
× 外形寸法及び取付寸法以外は参考とする。

× ケーブル長は既設コネクタに接続できる長さとする。

件 名	高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置
名 称	車内表示器外形図（参考図）
京都市交通局 高速鉄道部 高速車両課	

付図５



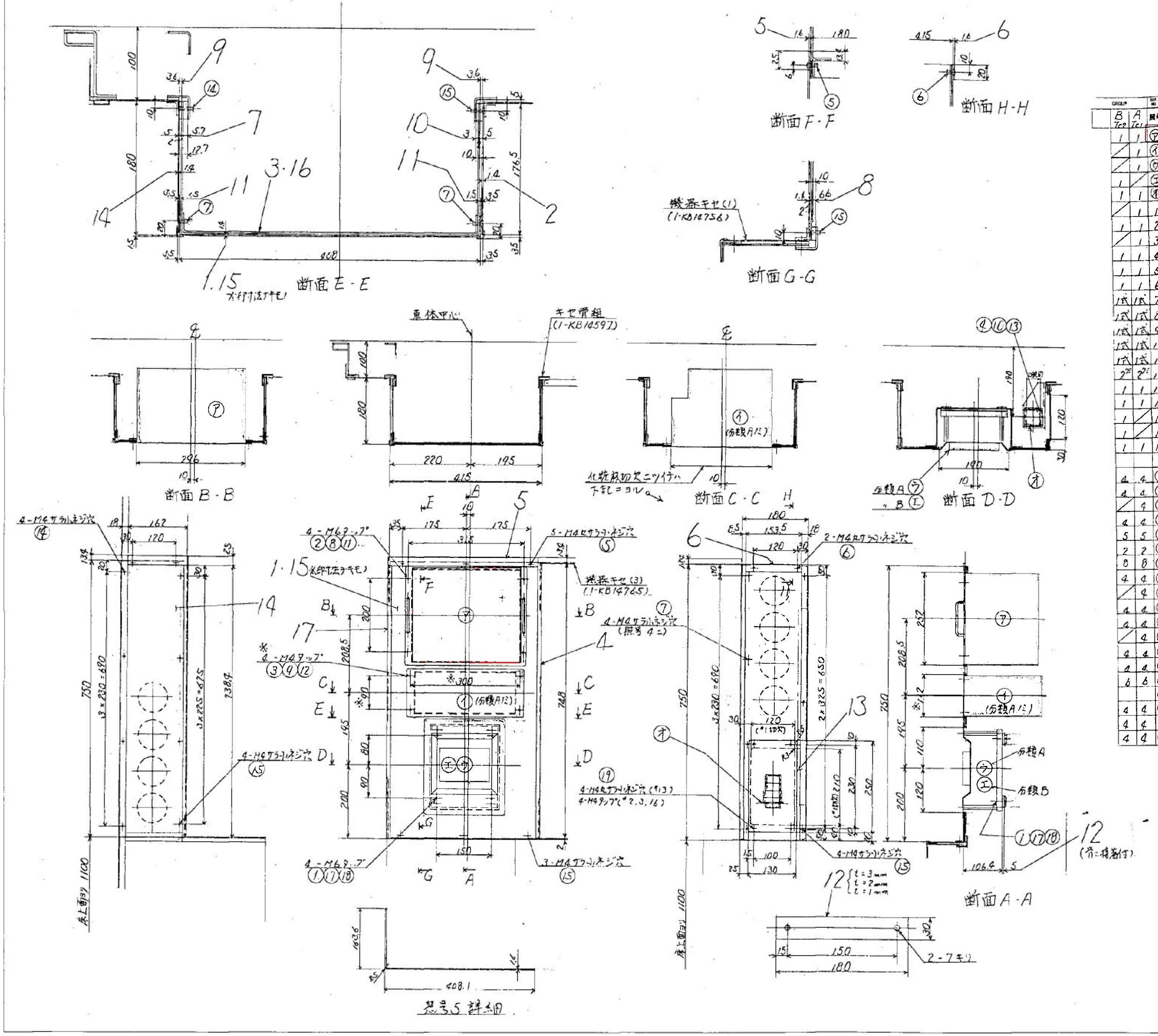


※外形寸法及び取付寸法以外は参考とする。

※ケーブル長は既設コネクタに接続できる長さとする。

件名	高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置
名称	正面表示器外形図（参考図）
京都市交通局　高速鉄道部　高速車両課	

付図 6

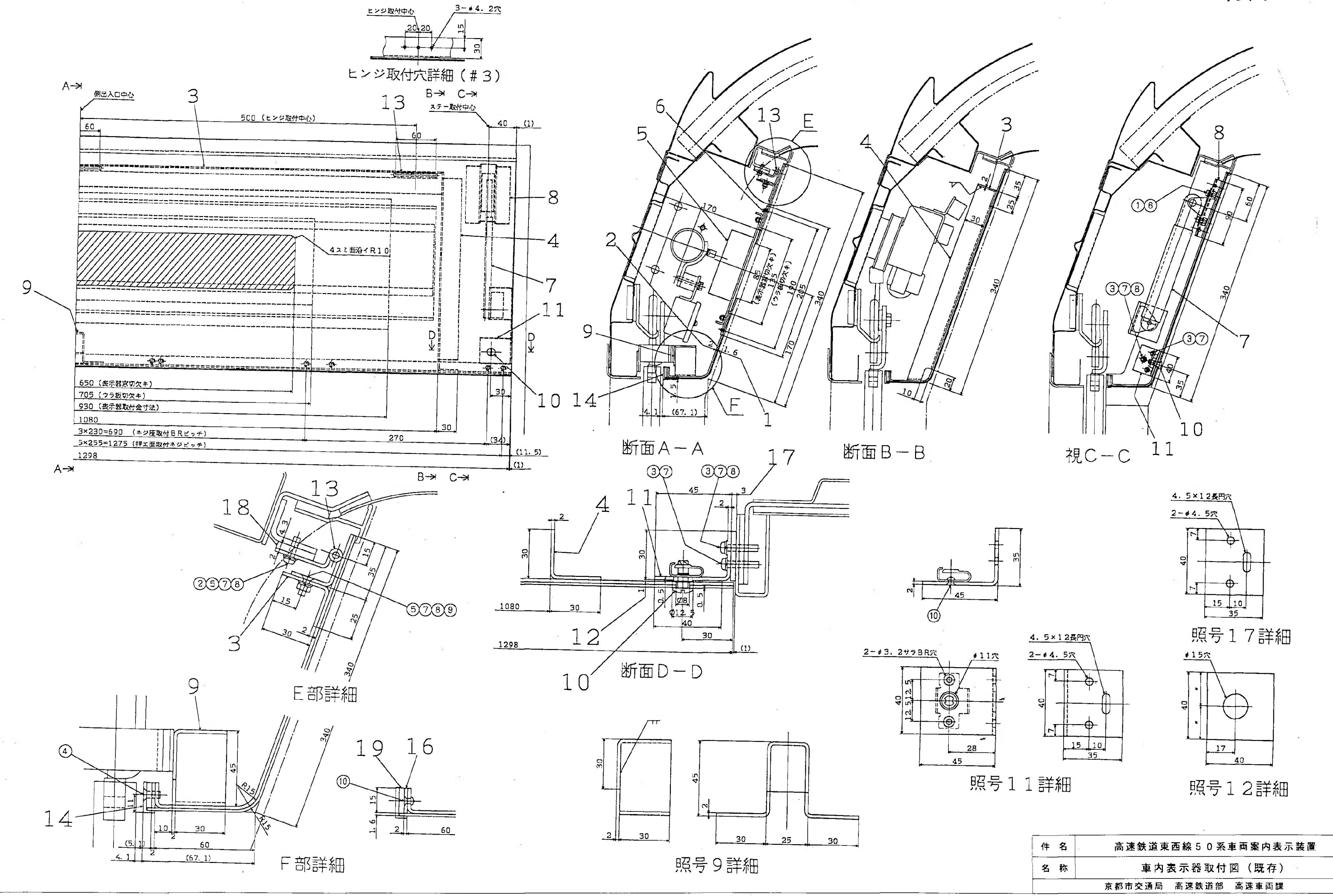


GROUP B Tc2	GROUP A Tc1	番号 REF. NO	名称 DESCRIPTION	図面番号 DRG. NO	材料 MATERIAL	1組分数 PCS/SET	重量 単	重量 計	記事 REMARKS	改訂記号 REV. MARK
1	1	㋐	表示設定器	16-0C5020B	組立品				(小糸)	
／	1	㋑	自動案内放送装置	R5KKT10C	〃				(TOA)	
／	1	㋒	記憶器 2	SC2071001	〃				(砂蔵)	
1	／	㋓	〃	SC2071002	〃				(〃)	
1	1	㋔	レセプタクル(表示器接続用)	／	〃				機器付属品 (小糸)	
／	1	1	化粧板	／	MPA2		1.13		t1.9 DMA-X2368M	
1	1	2	〃	／	〃		0.50		t1.4 〃 〃	
／	1	3	ララ板組立(2)	1-KB14764	組立品		4.94		分類A	
1	1	4	押エ面	／	A6063S-T1		0.13		K5926 AH59	
1	1	5	〃	／	A5063P		0.06		t1.6 〃	
1	1	6	〃	／	〃		0.02		〃	
1式	1式	7	パッキン	／	難燃性ハードボード		–		t5.7	
1式	1式	8	〃	／	〃		–		t6.6	
1式	1式	9	〃	／	〃		–		t3.6	
1式	1式	10	〃	／	〃		–		t3	
1式	1式	11	〃	／	〃		–		t1.5	
2枚	2枚	12	調整ライナー	／	[illegible]		0.04	0.08	t1×30×180 t3×30×180 [illegible]	
1	1	13	フタ	／	MPA2		0.19		t1.6 DMA-X2368M	
1	1	14	化粧板	／	MPA2				t1.9 DMA-X2368M	
1	／	15	化粧板	／	MPA2		1.26		t1.4 DMA-X2368M	
1	／	16	ウラ板組立(2)	1-KB14764	組立品		5.49		分類B	
1	1	17	押エ面	／	A6063S-T1				K5926 AH59	
4	4	①	六角ボルト 中2種 M6×35	／	4.6				EP-Fe/Zn 8/CM2 JISB1180	
4	4	②	十字穴付ナベ小ネジ M6×16	／	SUS304				JISB1111 (DIC α-2)	
／	4	③	M4×14	／	〃				〃 (〃)	
4	4	④	M3×10	／	〃				〃	
5	5	⑤	十字穴付丸サラ小ネジ M4×14	／	〃				〃	
2	2	⑥	M4×12	／	〃				〃	
8	8	⑦	十字穴付サラ小ネジ M4×12	／	〃				〃	
4	4	⑧	バネ座金 2号 6	／	〃				JISB1251	
／	4	⑨	〃 4	／	〃				〃	
4	4	⑩	〃 3	／	〃				〃	
4	4	⑪	平座金 ミガキ丸 6	／	〃				JISB1256	
／	4	⑫	〃 4	／	〃				〃	
4	4	⑬	〃 3	／	〃				〃	
4	4	⑭	十字穴付サラ小ネジ M4×20	／	〃				JISB1111	
6	6	⑮	M4×16	／	〃				〃	
		⑯	(欠)							
4	4	⑰	バネ座金 2号 6	／	SWRH62				EP-Fe/Zn 8/CM2 JISB1251	
4	4	⑱	平座金 ミガキ丸 6	／	SPCC				EP-Fe/Zn 8/CM2 JISB1256	
4	4	⑲	十字穴付丸サラ小ネジ M4×12	／	SUS304				緩み止めデン JISB1111 (DIC α-2)	

件名	高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置
名称	表示設定器取付図（既存）

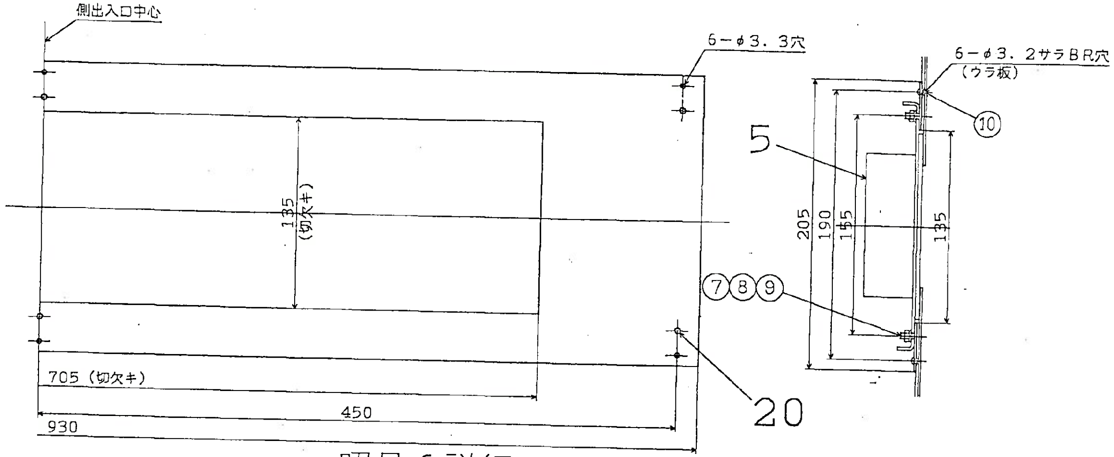
京都市交通局　高速鉄道部　高速車両課

付図 7

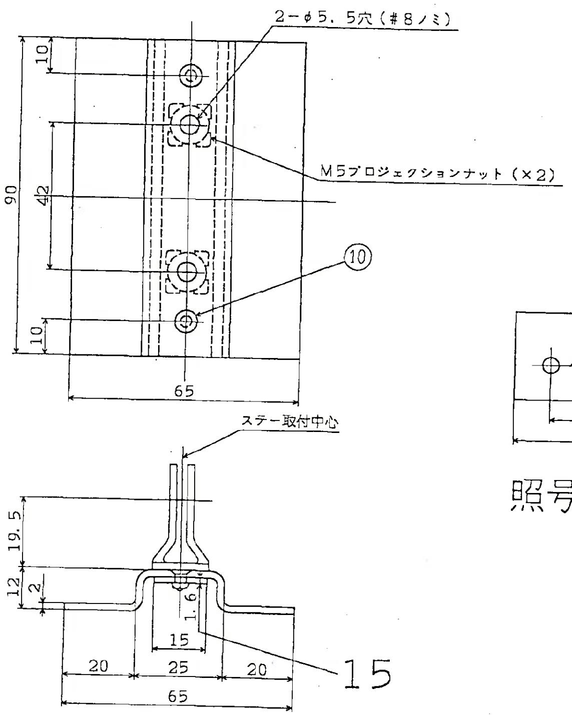


件 名	高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置
名 称	車内表示器取付図（既存）
	京都市交通局　高速鉄道部　高速車両課

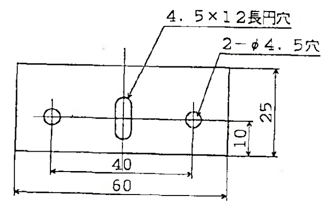
付図 8



照号６詳細



照号８詳細



照号１８詳細

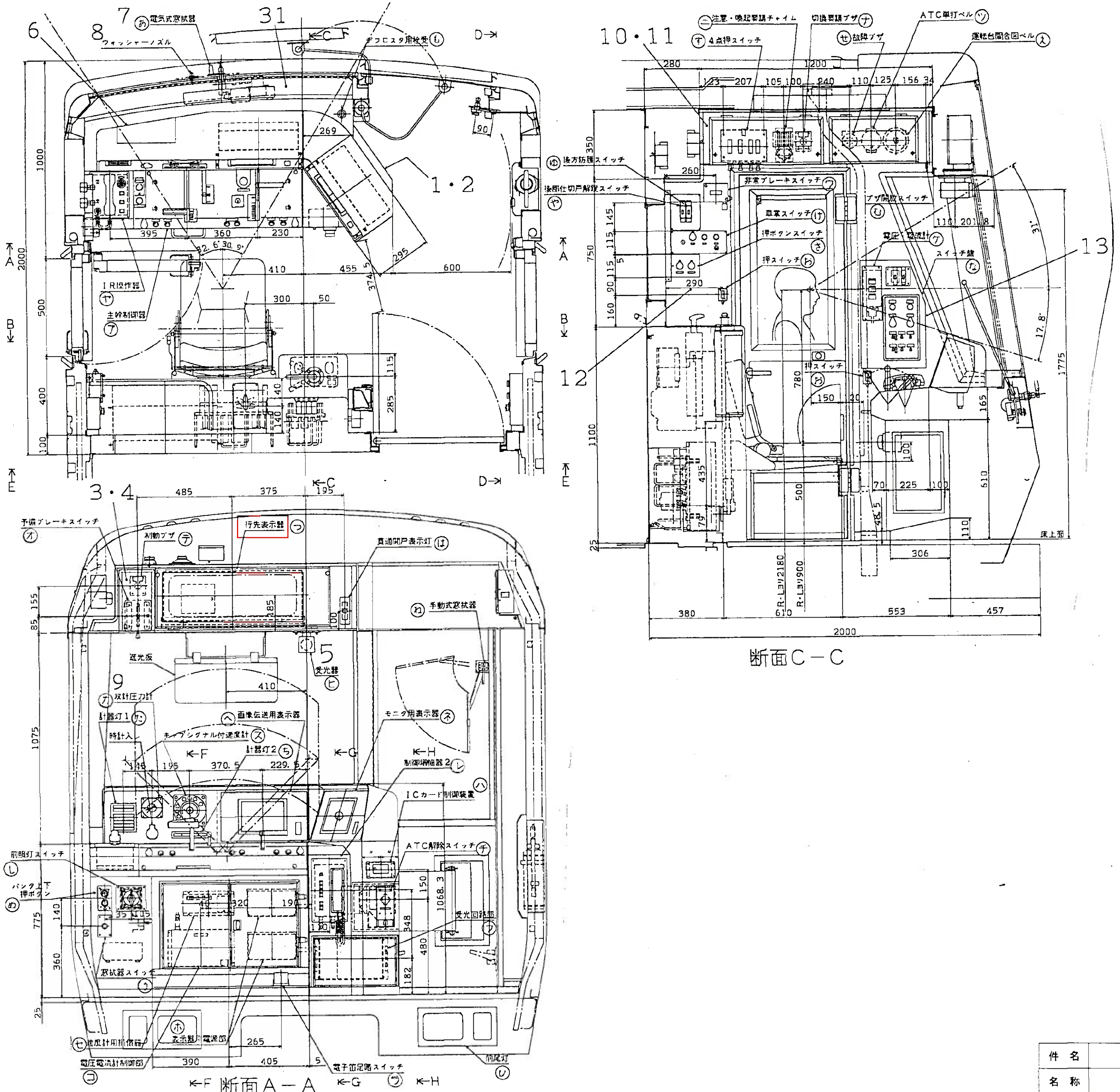
A	照号	名称	図面番号	材料	重量 単	重量 計	記事	改訂記号
1	1	化粧板		MPAℓ	1.80		t1.6 DMF-X2368M	
1	2	ウラ板		A5005P	2.56		t2	
1	3	補強		A5005P	0.32		t2	
L1 R1	4	補強		A5005P	0.10		t2	
1	5	車内案内表示器		組立品			購入部品仕様書	
1	6	車内案内表示器取付金		SUS304	1.13		t1.5	
L1 R1	7	ステー取付	2-KA12742	組立品	0.29			
2	8	ステー取付金		A5005P	0.04		t2	
1	9	当金		A5005P	0.04		t2	
2	10	止錠	2-KA12743	組立品				
2	11	止錠受		SUS304	0.04		t2	
2	12	受ゴム		CRゴム			t1	
3	13	ヒンジ	3-KA12744	組立品	0.13			
1	14	押エ面	K5196A	A6063S-T1	0.18			
2	15	ネジ座（ステー）		SPHC	0.03		t1.6 ウンクロヌリ M5プロジェクションナット付	
1	16	ネジ座（押エ面）		SUS304	0.31		t2	
2	17	パッキン（止錠受）		硬質塩化ビニール	0.01		t3 t(2+1+0.5)	
3	18	パッキン（ヒンジ）		硬質塩化ビニール	0.01		t4.3 t(2+1.5+1)×25×60	
1	19	パッキン（押エ面）		硬質塩化ビニール	0.08		t3.1 t(2+1+0.5)×11×1298	
6	20	スタッドボルトM4×10		SUS304				
4	①	⊕ナベ小ネジ M5X0.8x12	JIS B 1111	SUS304				
3	②	⊕ナベ小ネジ M4X0.7x14	JIS B 1111	SUS304				
6	③	⊕ナベ小ネジ M4X0.7x20	JIS B 1111	SUS304				
6	④	⊕サラ小ネジ M4X0.7x10	JIS B 1111	SUS304				
15	⑤	⊕サラ小ネジ M4X0.7x12	JIS B 1111	SUS304				
4	⑥	バネ座金2号 5	JIS B 1251	SUS304				
24	⑦	バネ座金2号 4	JIS B 1251	SUS304				
20	⑧	平座金ミガキ丸 4	JIS B 1256	SUS304				
15	⑨	六角ナット1種上2級 M4	JIS B 1181	SUS304				
20	⑩	サラブラインドリベット φ3.20		A5052BR			TAP/K(43)/BS	

注意

1．照号３・４・８・９ハ照号２ニ、スポット溶接スルコト。
2．照号６ノ取付ハＶＨＢテープ（Ｙ－４９２０）ヲ併用ノコト。
3．点検フタノ切断面ハ全テ糸面取リノ上、化粧板相当色ヌリノコト。
4．カモイ点検フタ裏面ハ、Ｎ６ヌリノコト。

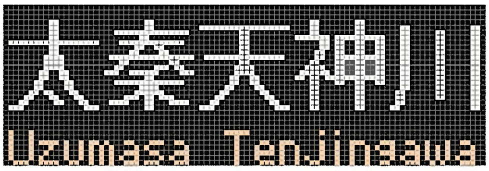
件名	高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置
名称	車内表示器取付図（既存）
	京都市交通局　高速鉄道部　高速車両課

付図 9



件　名	高速鉄道東西線５０系車両案内表示装置
名　称	正面表示器配置図（既存）
	京都市交通局　高速鉄道部　高速車両課

東西線５０系車両各表示器画面案

機器名	更新後
車内表示器	東西線車両（１７編成）  【フルカラー液晶】
正面表示器	東西線車両（１７編成）  【カラーＬＥＤ（５１２色）】

付図１１－１


◆ 京都市役所前～烏丸御池　走行シミュレーション
No
列車状態
表示内容
漢字+かな
漢字+英語
漢字+中国語
漢字+韓国語
備考
● 駅停車中表示 開始画面
1
駅停車中
京都市役所前停車中
路線案内（停車中）
● 停車中の駅が赤表示
2
駅間
京都市役所前発車
路線案内（走行中）
● 走行時の現在地点は赤矢印
のりかえ案内
周辺施設下車案内
路線案内（走行中）
● 下車案内表示後、駅接近まで路線案内(走行中)
3
烏丸御池接近
戸開方向案内
● ドア開まで戸開方向案内
● 駅停車中表示 開始画面
1
駅停車中
烏丸御池停車中
のりかえ案内
路線案内（停車中）
● 駅停車中表示 開始画面 に戻る

◆ 西大路御池～太秦天神川（終着駅） 走行シミュレーション

No.	列車状態		表示内容	漢字+かな	漢字+英語	漢字+中国語	漢字+韓国語	備考
				● 駅停車中表示 開始画面				
1	駅停車中	西大路御池停車中	路線案内（停車中）	東西線 太秦天神川 行 ただいま 西大路御池 にしおおじおいけ 16	Tozai Line for Uzumasa Tenjingawa ただいま 西大路御池 Nishioji Oike 16	东西线 开往 太秦天神川 ただいま 西大路御池 这一站 西大路御池 16	도자이선 우즈마사텐진가와 행 ただいま 西大路御池 현 재 니시오지오이케 16	
2	駅間	西大路御池発車	終着謝辞	東西線 太秦天神川 行 つぎは 終点 太秦天神川 うずまさてんじんがわ 17 ご乗車ありがとうございました。 Thank you for boarding.	Tozai Line for Uzumasa Tenjingawa つぎは 終点 Final Stop 太秦天神川 Uzumasa Tenjingawa 17 ご乗車ありがとうございました。 Thank you for boarding.	东西线 开往 太秦天神川 つぎは 終点 终点站 太秦天神川 17 ご乗車ありがとうございました。 Thank you for boarding.	도자이선 우즈마사텐진가와 행 つぎは 終点 종 점 太秦天神川 우즈마사텐진가와 17 ご乗車ありがとうございました。 Thank you for boarding.	
			終着案内	東西線 太秦天神川 行 つぎは 終点 太秦天神川 うずまさてんじんがわ 17 この電車は次の駅までです。 The next is the final station.	Tozai Line for Uzumasa Tenjingawa つぎは 終点 Final Stop 太秦天神川 Uzumasa Tenjingawa 17 この電車は次の駅までです。 The next is the final station.	东西线 开往 太秦天神川 つぎは 終点 终点站 太秦天神川 17 この電車は次の駅までです。 The next is the final station.	도자이선 우즈마사텐진가와 행 つぎは 終点 종 점 太秦天神川 우즈마사텐진가와 17 この電車は次の駅までです。 The next is the final station.	
			お忘れ物案内	東西線 太秦天神川 行 つぎは 終点 太秦天神川 うずまさてんじんがわ 17 車内にお忘れ物のないようにお降りください。 Please be sure to take all your belongings with you	Tozai Line for Uzumasa Tenjingawa つぎは 終点 Final Stop 太秦天神川 Uzumasa Tenjingawa 17 車内にお忘れ物のないようにお降りください。 Please be sure to take all your belongings with you	东西线 开往 太秦天神川 つぎは 終点 终点站 太秦天神川 17 車内にお忘れ物のないようにお降りください。 Please be sure to take all your belongings with you	도자이선 우즈마사텐진가와 행 つぎは 終点 종 점 太秦天神川 우즈마사텐진가와 17 車内にお忘れ物のないようにお降りください。 Please be sure to take all your belongings with you	
			乗換案内	東西線 太秦天神川 行 つぎは 終点 太秦天神川 うずまさてんじんがわ 17 のりかえ Transfer 嵐電 嵐山本線 Randen Arashiyama Line	Tozai Line for Uzumasa Tenjingawa つぎは 終点 Final Stop 太秦天神川 Uzumasa Tenjingawa 17 のりかえ Transfer 嵐電 嵐山本線 Randen Arashiyama Line	东西线 开往 太秦天神川 つぎは 終点 终点站 太秦天神川 17 のりかえ Transfer 嵐電 嵐山本線 Randen Arashiyama Line	도자이선 우즈마사텐진가와 행 つぎは 終点 종 점 太秦天神川 우즈마사텐진가와 17 のりかえ Transfer 嵐電 嵐山本線 Randen Arashiyama Line	
			周辺施設下車案内	東西線 太秦天神川 行 つぎは 終点 太秦天神川 うずまさてんじんがわ 17 周辺施設案内 ・右京区総合庁舎 ・右京中央図書館 ・右京ふれあい文化会館	Tozai Line for Uzumasa Tenjingawa つぎは 終点 Final Stop 太秦天神川 Uzumasa Tenjingawa 17 Facilities near the Station ・Ukyo Ward Office ・Ukyo Chuo Library ・Ukyo Fureai Bunka Kaikan	东西线 开往 太秦天神川 つぎは 終点 终点站 太秦天神川 17 周辺施設案内 ・右京区総合庁舎 ・右京中央図書館 ・右京ふれあい文化会館	도자이선 우즈마사텐진가와 행 つぎは 終点 종 점 太秦天神川 우즈마사텐진가와 17 Facilities near the Station ・Ukyo Ward Office ・Ukyo Chuo Library ・Ukyo Fureai Bunka Kaikan	
3		太秦天神川接近	戸開方向案内	東西線 太秦天神川 行 まもなく 終点 太秦天神川 うずまさてんじんがわ 17 こちら側の扉が開きます Doors on this side will open.	Tozai Line for Uzumasa Tenjingawa まもなく 終点 Final Stop 太秦天神川 Uzumasa Tenjingawa 17 こちら側の扉が開きます Doors on this side will open.	东西线 开往 太秦天神川 まもなく 終点 终点站 太秦天神川 17 こちら側の扉が開きます Doors on this side will open.	도자이선 우즈마사텐진가와 행 まもなく 終点 종 점 太秦天神川 우즈마사텐진가와 17 こちら側の扉が開きます Doors on this side will open.	
1	駅停車中	太秦天神川停車	終着謝辞	東西線 太秦天神川 行 ただいま 終点 太秦天神川 うずまさてんじんがわ 17 ご乗車ありがとうございました。 Thank you for boarding.	Tozai Line for Uzumasa Tenjingawa ただいま 終点 Final Stop 太秦天神川 Uzumasa Tenjingawa 17 ご乗車ありがとうございました。 Thank you for boarding.	东西线 开往 太秦天神川 ただいま 終点 终点站 太秦天神川 17 ご乗車ありがとうございました。 Thank you for boarding.	도자이선 우즈마사텐진가와 행 ただいま 終点 종 점 太秦天神川 우즈마사텐진가와 17 ご乗車ありがとうございました。 Thank you for boarding.	

◆ 設定器の操作による表示

No.	列車状態		表示内容	漢字+かな	漢字+英語	漢字+中国語	漢字+韓国語	備考
1	－	－	緊急案内	東西線 太秦天神川 行 つぎは 烏丸御池 からすまおいけ 13 お急ぎのところ誠に恐れ入ります。しばらくの間お待ち願います。	Tozai Line for Uzumasa Tenjingawa つぎは Next 烏丸御池 Karasuma Oike 13 Thank you for your patience. We will be in service soon.	东西线 开往 太秦天神川 つぎは 下一站 烏丸御池 乌丸御池 13 耽误各位乘客的宝贵时间，十分抱歉。请各位稍作等待。	도자이선 우즈마사텐진가와 행 つぎは 다음은 烏丸御池 가라스마오이케 13 바쁘신 중에 정말 죄송합니다. 잠시만 기다려 주세요.	●設定器の画面操作で優先（割込み）表示可能